

TPPパートナーによる共同声明

於：チリ・ビニャ・デル・マル

オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、日本、メキシコ、ニュージーランド、マレーシア、ペルー、シンガポール、ベトナムのハイレベルの代表者は、アジア太平洋の統合戦略に関するハイレベル対話の機会を利用して、環太平洋パートナーシップ（TPP）について議論するため、本日ここで会合を行なった。

出席したTPPパートナーは、世界の多くの地域での保護主義に対する不安に言及し、物品、サービス及び投資の自由な流れへのコミットメント及び、開かれた市場を維持し、地域の経済統合を進め、ルールに基づいた国際的な貿易システムを強化するために協力することへの揺るぎないコミットメントに、繰り返し言及した。

出席したTPPパートナーは、雇用を創出し消費者のために価格を低下させる可能性を有し、地域の経済統合の原動力として、また、経済成長、競争、革新及び生産性の促進剤として、TPPの原則及び高い基準を強調し、TPPのバランスの取れた成果及び戦略的・経済的意義を想起させた。

ハイレベルの代表者達は、TPPに関するそれぞれの国内手続きについて意見交換し、アジア太平洋地域における経済統合を進める可能性のある方法についての見解を、徹底的に議論した。貿易分野の政府高官は、2017年5月20-21日に、APEC貿易担当大臣会合の機会を利用して閣僚が再び会合を行う準備をするために、会合を行ない協議する。